

令和6年度 第1回 指定公立国際教育学校等管理法人評価委員会 議事概要

開催日時：令和6年6月17日（月）15時30分～17時30分

開催場所：大阪府立水都国際中学校・高等学校

開催方法：オンライン併用

出席委員：新生委員、※池田委員、※大迫委員、大野委員、山下委員

※オンラインでの出席

議事概要：

1 開会

2 議事

(1) 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画

①令和5年度事業報告について、指定管理法人より説明。

- ・ホノルルYMCAと連携したハワイ海外研修を実施するなど、指定管理法人のネットワークを活用した教育活動を推進した。
- ・課題探究型教育を一層充実させるとともに、外部コンテストにも積極的に参加し、各種入賞を果たした。

②令和6年度事業計画について、指定管理法人より説明。

- ・生徒や保護者等にかかれた学校づくり一層推進する。
- ・大阪府の特色ある教育を推進する拠点校としての役割をさらに強化する。

③質疑応答（○：委員、●：指定管理法人・学校）

- 生徒総会・保護者会の実施の目的を伺いたい。
- 生徒総会や保護者会を通じて、生徒・保護者の意見に耳を傾け、学習環境の一層の向上を図る。
- 開校当初と比較し退学者の動向はいかがか。
- 中学校1期生が中学校から高等学校に内部進学する際に進路変更等の理由で退学する生徒が比較的多くみられた。現在、内部進学せず退学する生徒は減少したが、中学校入学者全員が高校を卒業できるよう努力を継続していく。
- 私立無償化により生徒の選択肢が増えていることを踏まえ、いっそうの広報活動に取組み、拠点校としての役割を果たしてもらいたい。
- 承知した。

- 万博に向けて学校としての取り組みについて伺いたい。
- 府立学校の高校生が万博パビリオンの企画運営を行う「高校生万博チーム」にエントリーし、活動を始めたところ。
- IBは高等教育との関連性が高いと考えているが、水都国際の高大連携について伺いたい。
- 現在、IBに関連した高大連携は行っていないが、委員のご意見を踏まえ、今後検討する。
- IBコースの卒業生が在校生に講話する機会を設けているか。
- 現在、IBコース3年生が卒業前に在校生に講話する機会を設けているが、卒業後に講話する機会は設けていない。実施に向けて検討する。

(2) 令和6年度評価項目・評価基準について

①事務局から評価項目・評価基準について説明

②質疑応答（○：委員、●指定管理法人・学校、■：事務局）

- 評価基準「4」運営管理（5）に記載されている「実践内容・教育手法等を他の府立学校へ普及させる」に「IB」の要素を加筆してはどうか。
- 「実践内容・教育手法等」には「IB」の要素が含まれているという前提で、指定管理法人の自己評価並びに教育庁の所管課評価を実施している。
- 評価基準「3」生徒管理（6）に記載されている「特別支援教育」について、LGBTの生徒に対する学校の取組み等について伺いたい。
- 制服については、性別に関係なく選択して購入することが可能である。また、多目的トイレの整備も行うなど、学校全体を通じて配慮や支援を行っている。

審議結果：今年度の評価項目及び評価基準については、原案どおりとする。

3 今後のスケジュール

4 閉会